

んなヨコの整合性を見定める必要があります。

4. 過去との整合性 過去との整合性も忘れてはいけません。過去との連続性を失えば、それに異を唱える人が出てきます。
5. 実行可能性 ヒト・モノ・カネを含め、実行可能が問われます。
6. 勇気 最後は、どんな難題に直面しても、それを切り拓く勇気がいります。

質問5：雇用主や経営者、人事の方、従業員の方それぞれの立場で今後どのような取り組みをしなければいけないのか？

一にも二にもまずは「原論・歴史・(欧米)比較」を修めておくことが大事です。それが土台になけれ

ば自分の意見を作ることはできません。人と話を交わすことはできず、「働き方改革」も何を変えていいのかわかりません。

もう1つ。日本的雇用慣行は「他者の介在」に特徴があります。よって介在する「他者」すなわち管理職は、その自覚と持てる権限の有効活用が求められます。と同時に、権利の濫用は決して許されません。

※人材委員会は今回の第5回講演をもって活動を終了いたします。人材に関するテーマは、日本自動車会議の新たな委員会活動の中で取り上げていく予定です。

日本自動車会議所ホームページ

新着情報ランキング(2019.4/1～4/30)

Google アナリティクスより

	ページタイトル	ページビュー数
1	国交省、新たにエーミング作業も分解整備の定義に追加	1015
2	国交省、ホワイト物流の推進体制構築 長時間労働を是正	660
3	国交省、自動運転システム整備に認証制度を新設へ 名称「特定整備」に	556
4	国交省、車検証をICカードに22年度中に切り替え	508
5	パナソニック、2021年度に向けた車載事業の中期戦略を発表	474
6	警察庁、昨年の交通事故 自動ブレーキ普及で追突が目立って減少	437
7	自動ブレーキ普及加速、昨年の装着率9割前後	416
8	参加体験型イベント「交通安全。アクション2019 新宿」4月6日(土)、7日(日)に開催	411
9	OBD車検、エーミング未実施は不合格 スキャンツール機能拡充が不可避	391
10	トヨタ九州、宮田工場で「スプリングフェスタ2018」を開催	385
11	欧州のCO ₂ 排出規制強化、対応迫られる日系各社	362
12	軽検協、OSS開始を延期 省令の改正作業に遅れ	294
13	国もEDR搭載の義務付け方針を打ち出す、事故時の責任を速やかに特定	281
14	原付二種免許、最短2日で警察庁が規制緩和、二輪業界は歓迎	261
15	新車ディーラー、初の10連休対応は	248
16	国交省 10連休時の車検、あらかじめ余裕を持って事前検査推奨	236
17	軽量化の有力技術、進化するマルチマテリアル	215
18	国交省、「特定整備」の不安解消 事業継続の選択肢用意	215
19	ト販協、新体制発足 理事長に横田氏(群馬トヨタ社長)	163
20	警視庁 横断歩道不停止、取り締まり強化	151
21	会報「自動車会議所ニュース」2019年4月号を掲載	149
22	日刊自予測 今年の国内新車市場、登録車337万台 軽198万台	142
23	18年の輸入車新規登録台数 シェア過去最高、好調SUVが牽引	140
24	自動車用動力伝達技術研究組合(TRAMI)発足	135
25	高校生ものづくりコンテスト全国大会、将来のスペシャリスト育成	131
26	BSサミット、エーミング作業工数を策定 適正な修理料金の根拠に	130
27	JARI 2019年度一般公開のお知らせ のぞいてみよう！クルマの研究所	124
28	整備専業工場、エーミング作業にお課題 日刊自動車新聞調査	123
29	高齢者免許更新早めに 検査・講習予約取れず失効も	121
30	神社に名車がずらり 橿原神宮でモーターショー開催	115
31	「自動運転なのにぶつかった」/高齢者家族から「なぜ売った」 販社への相談・苦情が増加	102
32	金型代金、実態は中企庁など部品メーカー調査へ	102
33	自動車公取協、「自動ブレーキ」や「自動運転」テレビCMで表現禁止	99
34	東名高速道路全線開通50周年記念「次の日本の課題解決に繋がる高速道路を考える」フォーラムを開催	96
	総数(35番目以降も含む)	38,835